

名古屋支部は、1898（明治31）年に創立された歴史と伝統のある地域支部の一つです。5年毎に作成している学員名簿は2008年には280頁に及びました。また機関紙「白門なごや」を年1回発行し支部と会員間の情報交流の場としています。支部最大の行事である総会懇親会は毎年6、7月に約150名の出席を得て開催し年末忘年会も先輩後輩がともに酒を酌み交わし楽しく親睦の和を広げています。当支部には特に30歳代までを中心とした青年部会が組織され毎月1回夜定例会を開催し、また近隣支部(岐阜・遠州・京都・三重・東三河等)の若手会員と

交流を深め名古屋支部の活動の原動力となっています。当地区で2010年秋に開催された第42回全日本大学駅伝には、中央大学創立125周年記念協賛行事として名古屋支部主催のバス一台を仕立て母校選手を応援しまし

た。当支部には、ゴルフ・将棋・囲碁・グルメ・カラオケ・旅行・俳句等多様な趣味同好会があり活発に活動しています。卒業生の皆さま、名古屋方面に就職転勤等されたら是非名古屋支部を訪ねてください。大歓迎します。



平成22年度名古屋支部総会・懇親会



機関紙「白門なごや」

中央大学学員会への ●入会のすすめ

広報室 ●より

中央大学は、卒業生を「学員(がくいん)」と呼び、学員たちと、母校の興隆と発展に寄与するために創設されたのが、同窓会組織の「中央大学学員会」です。

設立は、中央大学の前身、英吉利法律学校が1885（明治18）年に創立された3年後の1888（明治21）年であり、2010（平成22）年で122周年を迎え、国内・海外に221支部を有します（2010年10月末現在）。

当会は、伝統と国内有数の規模を誇る学員のネットワークをベースに、さまざまな事業と活動を通じて、全ての学員の躍進のために「Sympathy（親愛）・Support（支援）・Square（交流の場）」の3Sを提供していきます。

学員会の活動および学員会が提供する各種サービスは、学員の皆さまから納入いただいた学員会費（維持会費・年会費）によって運営されています。何卒、ご趣旨をご理解のうえ、ご入会いただきますようお願い申し上げます。

なお、詳細は本誌とあわせてお送りしております、「中大生涯活用 BOOK ―GAKUIN 2011―」をご覧ください。

■ **住所・勤務先・氏名の変更手続きについて**
学員ネットワーク課にご連絡をお願い致します。
〈電話〉03-3219-6172
〈Web〉中央大学 Web サイト(www.chuo-u.ac.jp)
→ 卒業生の方へ → 住所変更

本誌9ページに掲載した藤江英輔氏の講演会には、『康子十九歳 戦渦の日記』（文藝春秋）で、藤江氏に『惜別の歌』が生まれたいきさつを書いたジャーナリスト門田隆将氏（83年法卒）が、藤江氏に先立って講演してくださいました。その中で門田氏は、「藤江さんから『人間は揺れこそが美しい』という言葉と『君は歴史の波動を書いてくれ』の言葉を託された」と述べられました。

その門田氏が、『この命、義に捧ぐ 台湾を救った陸軍中将根本博の奇跡』（集英社）で第19回山本七平賞を受賞、このほど授賞式が行われました。門田氏は「私は、毅然と生きた日本人の姿を描くことを大きなテーマの柱にしております。これを励みに、さらに埋もれた真実を掘り起こしていく作業を続けていきます。」と力強く挨拶されました。今後益々のご活躍に期待しています。



訂正とお詫び

本誌前号において、記事に誤りがありました。下記の通り訂正し、慎んでお詫び申し上げます。

- 12 ページ「本学出身者 2 名が最高裁判所判事に就任」
(誤) 12 名の判事を輩出 → (正) 13 名の判事を輩出
なお、記載漏れのあった方は、次のとおりです（敬称略、日付は在任期間）。
大塚喜一郎（1973年2月2日～1980年2月4日）
- 21 ページ「中央大学と日本医科大学が連携協力の協定」
(誤) 日本医科大学荒木学長 → (正) 日本医科大学田尻学長